

令和8年度第1回朝霞市産業振興基本計画推進委員会 次第

日時 令和8年6月4日（木）午前10時

場所 朝霞市役所 5階 大会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
計画の施策評価（令和7年度分）について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

【配布資料】

次第

資料1 朝霞市産業振興基本計画施策評価シート（令和7年度）

資料2 朝霞市産業振興基本計画推進委員 名簿

資料3 ご意見アンケート

参考 朝霞市産業振興基本計画施策評価シート（令和5年度）

資料 1

朝霞市産業振興基本計画
施策評価シート（令和 7 年度）

令和 8 年度第 1 回産業振興基本計画推進委員会

令和 8 年 6 月 4 日配布

施策の方向性	1 暮らしにマッチした生活環境の創造		
目指す姿	市の拠点エリアを中心に、商業等の賑わいの核となる場所づくりを進め、市民や来街者等のライフスタイルに応じた新たな生活環境の創造を目指す。		
1-1 市民等で賑わう拠点づくり			
令和7年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・商工関連イベント（商工まつり、産業フェア、ASAKA STREET TERRACE、黒目川花まつり）集客数【210,000人】 ・空き店舗の活用件数【0件】 ・主に商工団体の主催するイベントが四季折々に開催され、多くの賑わいを創出した。 ・空き店舗の活用として、店舗等リフォーム資金補助金の利用は無かった。 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・商工関連イベントでは昨年に比べ来場者数が微増し、地域経済の活性化が図られた。 ・店舗等リフォーム資金補助金を活用した出店は無く、空き店舗を活用した新規出店を支援することができなかった。 	判定	B
1-2 個店や商店街の魅力アップ			
令和7年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内商店会活性化推進事業件数【15件】 ・個店の魅力をPRする取組件数【4件】 ・商店街店舗数【335件】 ・店舗等リフォーム資金補助金利用件数【4件】 ・商工会や商店会等が実施する個店の魅力をPRする事業を支援した。 ・令和2年度から実施した店舗等リフォーム資金補助金において、空き店舗を活用した利用が0件、既存店舗のリフォームによる利用が4件、合計4件の利用があった。 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各商店会の活動実績は、若干減少で推移している。 ・個店の魅力をPRする取組は、横ばいで推移している。 ・商店街店舗数については、令和3年度から微増傾向に転じていたが令和6年度以降減少傾向に変化している。 ・店舗等リフォーム資金補助金において、空き店舗を活用した利用は無いが、既存店舗のリフォームでの利用は4件あり、個店の魅力アップの支援に繋がった。 	判定	C
1-3 市民の買い物環境等の向上			
令和7年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・買物施設等誘致件数（累積）【1件】 ・小売業売場面積【70,319㎡】 ・商店会加入店舗数【335件】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度にカインズ朝霞が市内にオープンしたことで、市民の買物環境等が向上した。 ・商工会、商店会が行う事業に対し、継続的に支援を行っている。 	判定	C
解決すべき課題・ 来年度に向けた方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗等リフォーム補助金については、近隣市町村の支援実施状況等を調査し、起業後のフォローアップとなる支援の実施について検討する必要がある。 ・カインズ朝霞が出店して以降、大規模小売店舗の出店はない状況が続いている。大規模商業施設を立地できるような土地がない状況が続いており、ハード面における解決は見通しが立たないことから、移動型スーパーやネットスーパーなどの実店舗に寄らない市民サービスについて、福祉部門との情報共有を図っていく必要がある。 		

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

■施策の進捗に関する各指標

1-1 市民等で賑わう拠点づくり

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	空き店舗の 活用件数	—	2件	3件	3件	4件	5件
		0件	3件	0件			
※1 成果指標	小売事業所数	—	520事業所	525事業所	530事業所	535事業所	540事業所
		502事業所	—	—		—	—
成果指標	商工関連イベント 集客数	—	125,000人	200,000人	210,000人	220,000人	230,000人
		108,000人	205,000人	210,000人			

1-2 個店や商店街の魅力アップ

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	個店の魅力をPRす る取組件数	—	5件	5件	5件	6件	6件
		4件	4件	4件			
※2 成果指標	商店街店舗数	—	165件	165件	170件	170件	175件
		158件	—	—	—	—	—
		369件	341件	335件			
成果指標	市内商店会活性化 推進事業実施件数	—	24件	25件	25件	26件	26件
		22件	17件	15件			

1-3 市民の買い物環境等の向上

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	買物施設等誘致 件数（累積）	—	1件	1件	1件	2件	2件
		—	1件	1件			
※1 成果指標	小売業売場面積	—	74,500㎡	75,000㎡	75,500㎡	76,000㎡	76,500㎡
		59,510㎡	—	—		—	—
成果指標	商店会加入店舗数 (再掲)	—	375件	380件	380件	385件	385件
		367件	341件	335件			

※1 総務省による経済センサス活動調査の調査結果に基づく数値

※2 計画策定時：商業統計に基づく数値（小売のみ）

令和3年度以降：商業統計の廃止に伴い、商店会に対する市補助金の添付書類に基づく数値（業種不問）

推進委員会の 評価	
--------------	--

施策の方向性	2 安心・安全な市民生活を支える産業の活性化		
目指す姿	市民の関心が高い「安心・安全」のニーズに応え、豊かな生活の実現に寄与する環境・サービスの創出を、各エリアの特性を踏まえながら進めていく。		
2-1 生活を高めめるサービス機能の強化			
令和7年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てや医療・福祉等の市民生活を高める産業の事業者への融資実行【1件】 ・保育業界への就職に繋げるためのセミナーの開催【0回 参加0人】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の融資件数は令和6年度より件数が伸び悩んだ。利用の実態としては原材料費の高騰等に直面している建設事業者や製造業、運輸業が多いが、令和7年度新たに高齢者向けのデイサービスについて融資を実行した。 ・就職支援セミナーについては、例年行っている保育業界への就労に向けたセミナーではなく、人手不足業界への支援を目的とした福祉業界の就職に向けたセミナーを開催した。また、業種を絞らずに就職活動のあり方をメインとした就活で役立つメンタルヘルスをテーマとした講演を行い、合計2回のセミナーを開催することができた。 	判定	D
2-2 コミュニティ・ビジネスの育成			
令和7年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家育成支援セミナーの開催【3回 参加人数 26人 第1回11人、第2回9人 第3回6人】 ・起業家育成支援相談の実施【43件】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・ビジネスについて、新規事業の立ち上げには至らなかったが、すでに事業を展開している事業者について市主催セミナーの参加が確認でき、更なる事業展開の支援ができた。 ・起業家育成支援相談件数については昨年度とほぼ同数の実施が確認でき、起業への興味・関心は増加傾向にある。 ・起業を目指す業種については依然としてサービス業が大半だが、子育て支援等の事業の展開を考える人もおり、コミュニティ・ビジネスの新規立ち上げに向けた支援が必要である。 	判定	C
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援セミナーについては、朝霞市は待機児童数が多く、子育て関連サービスの需要が高まることから、保育業界への就職へ向けた支援が必要である。また、その他人手不足業界の支援および就職活動のあり方に繋がるセミナーが実施できるよう隔年ごとにテーマを設定して行う。 ・令和8年度は保育業界への就職をテーマのセミナーを実施する。 ・コミュニティ・ビジネスについては令和8年度新たな事業立ち上げに向けて、コミュニティ・ビジネスをメインテーマに取り上げたセミナーを開催する。 ・市において優先的に解決すべき課題を整理するとともに、商工会や金融機関と連携を図り、さらなる新規事業立ち上げの支援のため、引き続き情報収集を行う。 		

■ 施策の進捗に関する各指標

2-1 生活を支え高めるサービス機能の強化

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	子育てや医療・福祉等の市民生活を高める産業事業者への融資件数	—	10件	10件	11件	12件	13件
		7件	1件	1件			
※ 成果指標	サービス事業者数（宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、教育・学習支援業、医療・福祉）	—	1,260事業所	1,265事業所	1,270事業所	1,275事業所	1,280事業所
		1,231事業所	—	—		—	—
成果指標	保育業界への就職に繋げるためのセミナーの開催	—	1回	0回	1回	0回	1回
		0回	1回	0回			

2-2 コミュニティ・ビジネスの育成

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	起業家育成支援セミナー参加人数	—	50人	50人	55人	55人	60人
		31人	76人	26人			
成果指標	支援による新規コミュニティ・ビジネスの立ち上げ件数（累積）	—	1件	1件	1件	1件	2件
		0件	1件	0件			

※総務省による経済センサス活動調査の調査結果に基づく数値です。当該調査は、5年に一度行われる調査であるため、5年間は数値の変動がないものとなります。

推進委員会の評価	
----------	--

施策の方向性	3 社会環境の変化に呼応した新たな産業の創出と育成		
目指す姿	社会環境の変化やトレンドを踏まえ、AIやIoT等の技術も視野に入れながら、新たな産業の創出や同業種・異業種間のネットワーク化を推進する。		
3-1 社会環境の変化をリードする新たな産業の育成			
令和7年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・製造業や専門技術サービス業等の事業者へ融資【3件】 ・あさか産業フェアにおけるアイデアコンテストの実施【1回】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・原油・原材料価格等の高騰に直面しながらも、新たな設備投資や事業拡大に取り組む事業者支援を行った。 ・融資総件数及び製造業への融資件数は前年度と比較して増えており、立ち直りを見せる製造業をはじめとした各業種への支援を着実に実施し、産業の育成にも繋がった。 ・アイデアコンテストの実施によって、若年層のモノづくりへの関心を高めた。 	判定	C
3-2 あさかにマッチした企業誘致と産業集積の推進			
令和7年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地の産業活動の検討のため、県が開催した企業誘致連絡会議幹事会に出席【2回】 ・和光富士見バイパス整備事業に係る情報収集【1回】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市内への企業誘致や県内の企業誘致状況等について情報収集を行うため、県企業立地課が毎年開催している企業誘致連絡会議幹事会に2回出席し、県内での連携事例の研究や企業が利用できる補助金等について情報収集などを行った。 ・和光富士見バイパス整備事業に関し、所管部署と情報共有を行った。 	判定	C
3-3 産業ネットワーク基盤の創造			
令和7年度 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・あさか産業フェアを開催【1回】 ・（新規）起業家育成相談による商工会への加入促進【46回】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の一品や市内のものづくり企業など、朝霞の魅力を産業面から再発見してもらうイベント「あさか産業フェア」を朝霞市商工会主催で開催した。また、「北朝霞どんぶり王選手権」と同日開催することで、市内外から多くの来場者にお越しいただき、市内産業の魅力発信に繋がった。 ・起業家育成相談の利用者から同意を得た場合に、利用者の情報を商工会に情報提供するとともに、中小企業診断士から商工会への加入を勧めることや、商工会職員からの紹介により、商工会への加入促進を行った。 	判定	C
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業等経営強化法に係る企業認定による設備投資の促進は市内事業者の労働生産性の向上と従業員の賃上げを後押しするものであり、制度利用促進のため、商工会等と連携して周知を図る必要がある。 ・市内同業種事業者（飲食店）で組織される「食いち」が商店街引いては市内産業全体を活性化させる取組を行っているため、継続的な活動のための支援を令和7年度より商店会と同様に補助金事業を行った。同様な団体が結成された場合には活動のための支援を行う。 		

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

■施策の進捗に関する各指標

3-1 社会環境の変化をリードする新たな産業の育成

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	製造業、学術研究、専門・技術サービス等の事業者への融資件数	—	4件	5件	5件	6件	6件
		3件	4件	3件			
※ 成果指標	製造業、学術研究、専門・技術サービス等の事業者数	—	512事業者	514事業者	516事業者	518事業者	520事業者
		500事業者	—	—		—	—
成果指標	中小企業等経営強化法に係る企業認定による設備投資の促進	—	14件	14件	15件	15件	15件
		—	0件	1件			

3-2 あさかにマッチした企業誘致と産業集積の推進

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	産業集積に係る土地利用のための庁内検討会開催回数	—	2回	2回	3回	3回	4回
		—	2回	2回			
成果指標	関連の取組による市内への事業所誘致件数（累積）	—	2件	3件	3件	4件	5件
		—	2件	2件			

3-3 産業ネットワーク基盤の創造

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	展示会等の開催回数	—	2回	2回	3回	3回	3回
		1回	1回	1回			
成果指標	商工会組織率	—	60%	60%	61%	61%	62%
		56%	51.0%	51.8%			

※総務省による経済センサス活動調査の調査結果に基づく数値です。当該調査は、5年に一度行われる調査であるため、5年間は数値の変動がないものとなります。

推進委員会の評価	
----------	--

施策の方向性	4 市民に身近なあさか都市農業の確立		
目指す姿	都心からのアクセスの良さを生かした都市農業の推進と、市民に身近で付加価値の高い、あさか農業の確立を目指す。		
4-1 都市農業の推進と担い手育成			
令和7年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者数【25経営体】 ・浜崎農業交流センターで朝霞産農産物を直売。【151日】 ・市役所ロビーで「朝霞新鮮野菜市」を開催。【13回】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者数は、1経営体が認定を更新せず、前年度比1減の25経営体となっている。 ・浜崎農業交流センターでの朝霞産農産物の直売や、市役所ロビーでの朝霞新鮮野菜市を通常どおり実施し、農家への支援を行った。 ・農業振興に関する研修を行い11人が参加した。各種農業推進団体へ事業費補助金を交付し支援した。農業祭は例年使用している会場が工事中だったため、別会場となったが、通常どおり実施した。 	判定	C
4-2 農地の多面的機能の促進と市民とのふれあいの機会づくり			
令和7年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農業委員会による農地パトロール。【パトロール日数 延べ120日】 ・遊休農地解消率。【83%】 ・市民農園の管理運営。【6農園 区画数：450区画 貸出可能数：441区画 貸出数：439区画】 ・農業者向けに「農業だより」を発行。【3回】 ・農業体験事業【3事業】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・農地パトロールを継続して実施した結果、83%の遊休農地解消率となり目標を上回る結果となっている。市民農園は、ほとんどの区画の申し込みがあり、農業へのふれあいの機会をつくることができた。農業だよりを予定どおり3回発行し、農業に関する啓発ができた。農業体験は、じゃがいも掘り、さつまいも掘り、だいこん掘りを実施し、農業に親しむ機会を提供することができた。 	判定	C
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・都市近郊の立地を活かした都市農業を推進する必要がある。これを実現するため、農業祭や農業体験などの啓発事業を開催し、農業者と市民の交流を促進する。 ・浜崎農業交流センターや市役所での農産物の直売を通じて農業者を支援するとともに、市民が朝霞の農業について理解を深め、食育の場としても機能するよう努める。今後も担い手の育成を継続して支援し、持続可能な農業振興に取り組む。 		

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

■ 施策の進捗に関する各指標

4-1 都市農業の推進と担い手育成

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	農業振興に係る研修会等の参加者数	—	38人	41人	44人	47人	50人
		25人	17人	11人			
成果指標	認定農業者数	—	31経営体	32経営体	33経営体	34経営体	35経営体
		25経営体	26経営体	25経営体			

4-2 農地の多面的機能の促進と市民とのふれあいの機会づくり

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	農地利用最適化推進活動	—	180日	180日	210日	210日	240日
		120日	120日	120日			
成果指標	遊休農地解消率	—	51%	52%	53%	54%	55%
		45%	85%	83%			

推進委員会からの評価	
------------	--

施策の方向性	5 産業人材・産業基盤を強化する総合的な支援の充実		
目指す姿	地域経済を支える小規模事業者・中小企業が、今後も事業を維持、拡大できるよう、経営や事業承継を支援することで産業基盤の総合的強化を目指す。また、新たな産業の芽となる起業の促進を進め、同時に業種や規模によって異なる人材ニーズに対し、本市の産業を支える人材を確保し、育成していくとともに働きやすい環境づくりを推進する。		
5-1 産業基盤の強化に向けた取組推進			
令和7年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・朝霞市中小企業融資制度による、中小企業への資金融資の実行【24件】 ・セーフティネット保証5号認定件数【1件】 ・朝霞市中小企業融資利子補給補助金【84件・3,231,554円】 ・個人住宅リフォーム資金補助金制度による、市内業者の利用の促進【114件】 ・(新規)「地域の中小企業者の持続的成長支援及び地域活性化に向けた連携協定」に基づいた地域連携会議【2回】 ・(新規) キャッシュレス決済ポイント還元事業 ・朝霞市商工会による経営や事業承継等に関する相談の実施【1,418件】 ・朝霞市商工会による事業承継セミナー【2回・49名参加】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰や人手不足の影響が続く一方、緊急的な資金需要は前年より落ち着きが見られ、セーフティネット保証認定件数や融資実行件数は減少した。 ・利子補給補助金の活用や経営・事業承継相談は引き続き一定の利用があり、中小企業の経営安定化や事業継続に向けた支援につながった。 ・物価高騰等の影響を受けた市内の中小企業や個人事業主への支援を目的に、新たにキャッシュレス決済ポイント還元事業を実施し、市内消費の喚起と地域経済の活性化を図った。 	判定	B
5-2 起業しやすい環境づくり			
令和7年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・起業家育成支援相談の実施【46件】 ・市の支援を受けて起業した件数【5件】 ・起業家育成資金融資制度の実行【5件】 ・起業家育成支援セミナーの開催【4回 参加人数 65人 第1回11人、第2回9人 第3回6人 第4回 39人】 ・店舗等リフォーム資金補助金交付件数(再掲)【4件(既存店舗)】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年3月に締結した「地域の中小企業者の持続的成長支援及び地域活性化に向けた連携協定」に基づき、起業家育成資金融資制度利用時の優遇措置を設ける等起業支援体制の強化を図った。 ・朝霞市商工会からの紹介もあり、起業家育成資金融資制度の利用が増加し、創業時の資金需要への支援につながった。 ・近隣3市及び日本政策金融公庫との共催による起業セミナーを初めて開催するなど、相談支援と併せて継続的な創業支援を実施し、起業しやすい環境づくりを推進した。 	判定	C
5-3 産業を支える人材の確保・育成			
令和7年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した合同就職相談会の開催【3回 参加人数 231人】 ・市の支援を受けて就職した人数【2人】 ・就職支援セミナーの開催【市単独開催2回 参加 46←14人、埼玉労働局共催8回264件、他共催3回 参加171人】 ・内職相談の実施【実施回数97回 相談件数118件(求職相談:111件 求人相談:7件) あっせん件数9件】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市の支援を受けて就職した人数は目標に達しなかったものの、市主催の就職支援セミナーは昨年度より回数を増やして実施したほか、合同就職面接会・相談会の開催について国・県・他市町村等の関係機関と積極的に連携することで、目標回数の開催を実現することができた。 ・時流に沿ったテーマや実施形態とする等、内容の充実や利便性向上を図った。 	判定	C
5-4 働きやすい環境づくり			
令和7年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・グッドバランス企業新規認定【3件】 ・労働社会保険相談の相談件数【31件】 		
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・グッドバランス企業認定制度では、新たに3事業者を認定した。 ・労働社会保険相談については、社会保険適用拡大や「年収の壁」への関心の高まりを背景に相談件数が増加した。 	判定	D
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰や人手不足等の影響が続く中、中小企業の経営安定化に向けた資金繰り支援や伴走型支援を引き続き実施していく必要がある。 ・朝霞市商工会、埼玉県信用保証協会及び市による連携協定を活かし、創業希望者への制度周知や相談支援を強化するとともに、近隣市と連携したセミナー開催など、広域的な創業支援の充実を図っていく。 		

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

■施策の進捗に関する各指標

5-1 産業基盤の強化に向けた取組推進

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	中小企業融資実行件数	—	59件	60件	61件	62件	63件
		53件	32件	24件			
※ 成果指標	民営事業所数	—	3,650事業所	3,650事業所	3,700事業所	3,700事業所	3,720事業所
		3,580事業所	—	—		—	—
成果指標	商工会による経営や事業承継等に関する相談実施件数	—	3,410事業所	3,420事業所	3,430事業所	3,440事業所	3,450事業所
		3,352事業所	1,710事業所	1,418事業所			

5-2 起業しやすい環境づくり

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	起業家育成相談件数	—	48件	51件	54件	57件	60件
		31件	47件	46件			
成果指標	市の支援を受けて起業した件数	—	16件	17件	18件	19件	20件
		9件	7件	5件			

5-3 産業を支える人材の確保・育成

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	就職相談会（合同）開催件数	—	3回	3回	3回	4回	4回
		—	3回	3回			
成果指標	市の支援を受けて就職した人数	—	12人	14人	15人	17人	18人
		4人	3人	2人			

5-4 働きやすい環境づくり

	名称	上段：目標値 下段：実績値					
		計画策定時 (2018年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
活動指標	ワーク・ライフ・バランス推進企業認定数	—	32事業所	39事業所	46事業所	53事業所	60事業所
		—	2事業所	3事業所			
※ 成果指標	市内民営事業所従業員数	—	41,700人	42,400人	42,400人	42,400人	42,500人
		40,923人	—	—		—	—
成果指標	労働社会保険相談の相談件数	—	25件	26件	27件	28件	29件
		17件	34]件	31件			

※総務省による経済センサス活動調査（令和3年）の調査結果に基づく数値です。当該調査は、5年に一度行われる調査であるため、5年間は数値の変動がないものとなります。

推進委員会の評価	
----------	--

プロジェクト名	1. あさか起業×リノベーション・プロジェクト		
概要	暮らしのニーズにマッチした小売・飲食・福祉・子育て等の商業・サービス業等に係る起業家が、商店街をはじめとする市内の空き店舗等を活用して事業を開始し、また、展開していくことを地域ぐるみで支援するための仕組みづくりを行います。		
関連施策	◎1 暮らしにマッチした生活環境の創造 ◎2 安心・安全な市民生活を支える産業の活性化 ◎5 産業人材・産業基盤を強化する総合的な支援の充実	判定	C
令和7年度の取組と達成状況	<p>市内で起業を目指す方等を対象に開催する起業家育成支援セミナーについては、近隣3市及び日本政策金融公庫と初めて共催し、市域を越えた参加者同士の交流機会を創出した。内容としては、基調講演の他、先輩起業家によるパネルディスカッションを行うことで、起業後の実体験や課題、地域での事業展開事例を共有し、参加者が起業をより具体的にイメージできる機会となった。</p> <p>市の支援を受けて起業した件数は昨年度より減少したが、起業準備中の件数は増加しており一定の効果があったものと思われる。</p>		
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<p>起業や店舗のリノベーションを直接的に支援する店舗等リフォーム資金補助金制度については、既存店舗の改修に係る利用はあったものの、空き店舗を活用した起業での利用はなく、申請件数も前年を下回ったことから、制度のさらなる周知及び活用促進が課題となった。</p> <p>TMO事業における空き店舗活用については、商工会や商店会等が検討を進める段階から積極的に連携し、支援策の検討を行う必要がある。</p> <p>また、朝霞市商工会、埼玉県信用保証協会及び市の3者で締結した「地域の中小企業者の持続的成長支援及び地域活性化に向けた連携協定」に基づき令和7年度から実施している地域連携会議等を継続し、関係機関との連携強化及び支援の充実を図っていく。</p>		
推進委員会の評価			

プロジェクト名	2. あさか型企业誘致プロジェクト		
概要	市内の低・未利用地や一般国道254号和光富士見バイパス沿道地域等での産業基盤整備の検討を行うとともに、都市型産業等のターゲット業種を絞るなど、本市の特性に合った企業誘致や産業集積の推進を図ります。		
関連施策	◎2 安心・安全な市民生活を支える産業の活性化 ◎3 社会環境の変化をリードする新たな産業の育成	判定	C
令和7年度の取組と達成状況	令和7年度は、令和6年度に引き続き情報収集として埼玉県企業立地課が開催する説明会に参加し、埼玉県内の企業誘致状況や埼玉県が交付する企業誘致に関する補助金に関する情報を収集した。また、国道254号和光富士見バイパス第Ⅱ期整備区間及びあずま南地区土地区画整理事業や、その他今後の区画整理関係の情報に関して、所管部署と情報共有を行った。		
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	<p>国道254号和光富士見バイパス第Ⅱ期整備区間については、詳細設計に向けた協議を市と県において行うとともに、軟弱地盤対策工事を進める予定となっていることから、進捗を注視していく。また、あずま南地区土地区画整理事業については、随時建築等が進んでいるとのことで、進捗状況を確認する。</p> <p>引き続き関係部署との情報共有を図り、事業の進捗に合わせて企業誘致や市内産業の活性化につなげていく必要がある。</p>		
推進委員会の評価			

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

プロジェクト名	3. あさか野菜の地産地消プロジェクト		
概要	あさか野農業協同組合の本店移転を契機として、市民・農家・JA・朝霞市商工会・行政が協力し、市民と生産者が交流できる場づくりを行います。また、新たな需要を創造するため、あさか農産物の高付加価値な商品開発やプロモーションを行うとともに、市民や事業者等と協働して地産地消の取組を実施します。		
関連施策	○1 暮らしにマッチした生活環境の創造 ○4 市民に身近なあさか都市農業の確立	判定	C
令和7年度の取組と達成状況	あさか野菜PR事業の一環として、毎月第4土曜日にカインズ朝霞店で開催される「くみまちマルシェ」において、朝霞産の野菜を使った「クッキングライブ」を実施し、市民にあさか野菜を知っていただく機会となった。浜崎農業交流センターなどでの直売に加え、庭先販売施設の補助を1件実施し、地産地消の推進に努めた。		
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	引き続きJA等と連携し、農業祭など市民と生産者が交流できる場を創出していく。また、農業体験や市民農園事業を通じて、朝霞の野菜や農業への関心を高めるとともに、農産物の直売や庭先販売のPRを行い、地産地消の推進に取り組む。		
推進委員会の評価			

プロジェクト名	4. あさかで働こうプロジェクト		
概要	働きやすい職場づくりを実践する市内事業者を市が表彰等を行うとともに、そのPRに取組むことで、市民の市内での就職と定着を後押ししてまいります。併せて、埼玉県・朝霞公共職業安定所・民間の人材マッチング事業者等とも協働し、市内の潜在求職者の発掘に向けてセミナーや相談会、マッチング等を行い、事業者と求職者をともに支援できる体制を構築してまいります。		
関連施策	○3 社会環境の変化をリードする新たな産業の育成 ○5 産業人材・産業基盤を強化する総合的な支援の充実	判定	C
令和7年度の取組と達成状況	ワーク・ライフ・グッドバランス企業認定制度を継続して実施し、新たに3事業者を認定し、例年より多くの事業者を認定できた。 県・他市町村等の関係機関と共催の機会を捉え、合同企業面接会や就職支援セミナーを積極的に開催することで、市内での就労・マッチングにつながる支援を数多く実施した。		
解決すべき課題・来年度に向けた方向性	ワーク・ライフ・グッドバランス企業認定制度では例年より多くの事業者を認定できたものの、目標値に達するためには制度の見直しや周知方法を工夫する必要がある。市内への就職支援では、人手不足の業界等の支援に繋がるセミナーの実施を引き続き行う。また、中高年齢層の就職希望者が増加傾向にあることから中高年齢層の就労・マッチングに繋がる支援について関係機関と連携し、県や他市町村等との共催事業にも積極的に参加するよう努める。		
推進委員会の評価			

判定の基準 A：計画を大幅に上回る進捗状況 B：計画を上回る進捗状況 C：計画どおりの進捗状況 D：計画を下回る進捗状況

朝霞市産業振興基本計画推進委員会委員名簿

(任期：令和7年6月3日～令和9年3月31日)

敬称略

委員要件		氏名	備考
1号委員	学識経験	ふくだ あつし 福田 敦	関東学院大学 経営学部教授
2号委員	知識経験	やまぐち なおふみ 山口 直史	埼玉縣信用金庫朝霞支店 支店長
		かとう あき 加藤 亜紀	一般社団法人埼玉県中小企業診断協会
3号委員	商工関係団体	たかはし じんじ 高橋 甚次	朝霞市商工会 会長
		やまぐち じゅんいち 山口 淳一	北朝霞商業振興会 会長
4号委員	農業関係団体	たかはし たかし 高橋 隆	朝霞市農業委員会 会長
		やまざき よしなり 山崎 善成	あさか野農業協同組合 指導経済部 経済課 課長
5号委員	労働関係団体	こすだ めぐみ 小須田 恵美	埼玉土建一般労働組合朝志和支部 書記長
6号委員	関係行政機関	うしくぼ ななこ 牛久保 菜々子	朝霞公共職業安定所 所長
7号委員	公募による市民又は公募委員候補者名簿に登載された市民	さいとう まきこ 齋藤 真喜子	公募委員
		たなか まさみ 田中 正美	公募委員

令和 8 年度第 1 回
朝霞市産業振興基本計画推進委員会
ご意見アンケート

朝霞市 市民環境部 産業振興課産業労働係

第 1 回委員会では、様々な御意見等いただき、誠にありがとうございました。
時間内ではお話ししきれなかったこと、また委員会での検討内容を踏まえ、終了後にお気づきになったこと等ございましたら、「ご意見アンケート」の御提出をお願いいたします。

本紙にご記入の上、**6月15日(月)**までに**048-467-0770**

まで FAX いただくか、**sangyo_sinko@city.asaka.lg.jp** (朝霞市 市民環境部 産業振興課産業労働係) まで e-mail をお願いいたします。メールで御提出の際は、様式等は問いません。(メール本文でも結構です。)

また、スペースが足りない場合は番号をつけて複数枚お書きください。
ご多用のところ大変恐縮ですが、よろしくお願い申し上げます。

・
・
・

お名前： _____

6月15日(月)までにお願ひします

FAX : 048-467-0770

NO. _____

朝霞市 市民環境部
産業振興課産業労働係 宛

令和 8 年度第 1 回産業振興基本計画推進委員会
令和 8 年 6 月 4 日配布